

エリア統一ホテル管理システム(PMS)及び
宿泊データ分析システム導入業務
実施計画書

令和5年9月26日第1版

Liigo

株式会社リーゴ

①実施方針の策定（背景と目的）

○背景と目的

近年における観光産業は、コロナ禍において、非常に厳しい社会環境に置かれています。

コロナ禍後の観光地間の地域間競争への対応を図っていくためには、**これまで養ってきた観光の経営ノウハウ**だけでなく、データに裏付けられた確かな観光動向を的確に捉え、県や自治体・DMO、観光事業者（宿泊事業者等）による個々の取組み、相互連携による取組みを戦略的に進めていくことが必要と考えます。

また、この種のデータ利活用事業を始める際に何よりも重要なのが地域のステークホルダー間の合意形成です。拠点を京都に置く、再委先のJTB京都中央支店は地域の観光に係るステークホルダーとの連携を密にし、宮津市の観光振興に取り組んでおります。宮津市様と一緒に、地域の合意形成を最大限にサポートします。

本業務で導入いただく『宿泊データ分析システム』は地域全体の宿泊予約データをタイムリーに把握し、効率的で効果的なマーケティングを可能とし、地域の観光事業者に必要なデータを提供しながら、観光地マネジメントすることにより、地域全体の収益性、競争力を高めることができると認識しています。

以上を踏まえ、私たちは、単にデータ収集・データ分析結果表示に留まらず、**データをもとにした需要予測、データに基づく施策の評価ができる仕組み**として『宿泊データ分析システム』をお勧めいたします。加えて、こうした取組には、**“データを読み解く力”が必要であると考え、その人材育成についても支援**を行います。

① 実施方針の策定（実施方針）

○実施方針

・業務管理について

方針① 事務局の設置

⇒株式会社JTBと連携し事務局を立ち上げる。

株式会社JTB京都支店内に事務局を設置し、円滑な業務を推進。

・エリア統一ホテル管理システム（PMSの新規導入支援）

方針① 宮津市内における宿泊施設の規模に応じたPMS等を提案、 利用環境・コスト面等で宿泊事業者にとって負担感のない、 サステナブルなPMS等の導入を支援

⇒宿泊事業者に対して事業説明会の実施。

新規導入の際、費用に対する補助率は50%とします。

方針② 各宿泊事業者の宿泊管理の実態や今後の経営効率化につながる システムの拡張性、宿泊データ分析システムとのデータ連携の互換性を 考慮したPMSの選択と導入支援

⇒導入するエリア統一ホテル管理システム（PMS）については、

宮津市及び宮津天橋立観光旅館協同組合と協議し、決定します。

・宿泊データ分析システム構築導入及び宮津市宿泊事業者に対してデータ連携の実施

方針① 宿泊データ分析システムの導入について

⇒宿泊データ分析システムの設計～構築～導入～説明会の実施までのステップを
明確にし、説明会等を実施し、導入を支援します。

方針② データ収集機能について

⇒PMS、サイトコントローラーが提供するインターフェイス（API）を利用した連携
やWEB画面を通じダウンロードを行う一連のプログラム作成し自動化を行う自
動連携を基本とします。ただし、システム上自動連携の実施が難しい場合に限り、
ファイルアップロードでの連携を可とします。また説明会を行い、フォローを実施します。

方針③ データ分析機能について

⇒需要予測を実装すること。基にするデータとしては収集した過去のデータの他に
現時点の予約状況など複数のデータを元にし、需要予測の精度が高くなるよう
設計すること。またオープンデータを利用した他地域との比較分析（宿泊・人
流・消費）を可能とすること。分析に関しても説明会を行い、フォローを実施します。

○事務局の設置

同種業務に豊富な経験を有する当社メンバーならびに京都に拠点を置く、株式会社JTBC京都中央支店に事務局を設置し、業務の管理を行い事業を遂行します。

宮津市面的DX推進事務局

電話：075-284-0146 営業時間：9:30～17:30

（番号は変更の可能性があります）

メール：tsunagaru_miyazu@jtb.com

担当：佐野 朱美重（株式会社JTBC）

株式会社リーゴ

代表幹事、全体統括、地域分析システムとの考察

事業責任者 代表取締役 宮本 秀範

事業推進担当：プロジェクトマネジメント 浅田 有哉

事業者対応：ディレクター 新井田 圭佑

株式会社JTBC

業務管理、事業遂行管理、新規導入支援、関連観光事業者への窓口、「エリア統一ホテル管理システム（PMS）及び宿泊データ分析システム導入業務」企画・開発・運用保守管理

株式会社JTBC 京都中央支店

統括責任者：支店長 中川 渉

事業推進管理者 観光開発プロデューサー 神田 泰志

事業推進担当者：営業1課 田中 大誠

○業務担当スタッフの業務歴等

◆株式会社リーゴ



宮本 秀範 | 代表取締役

大学卒業後(首席)、マーケティング事業会社の株式会社COMUNを設立し、3年後に事業売却に成功する。その後、SoftBank創業者 孫正義氏などからスポンサーをもらい、世界大学調査プロジェクトを発足し、27カ国52の世界トップ大学の調査を実施。帰国後、複数の事業会社取締役を勤務後、株式会社リーゴ(Liigo Inc)設立。観光庁事業の世界的DMO輩出に向けた専門家でもある。



浅田 有哉 | 営業チーム 責任者

JTBに9年間在籍し、観光・旅行業に関して豊富な知見を有する。JTBが推進する地域交流事業の一環として、大口顧客であったローソンと地方自治体をマッチングさせ、地方自治体の特産品を使ったオリジナル商品の開発・販売をサポート。グループリーダーとしてパッケージデザインの考察からSNS広告戦略の企画、消費者キャンペーン等の企画運営まで一括で担当するなど、多岐にわたる活躍。



新井田 圭佑 | 観光・地域DXプロデュースチーム 責任者

IT情報サービス事業を扱う「みんなのウェディング」「skyticket」にて営業マネジメント及び新規事業開発マネジメントを担当。「skyticket」新事業にあたる【留学】サービスの事業開発統括を担当、「みんなのウェディング」では北陸事業所、「skyticket」では大阪事業所の立ち上げ責任者を担当

◆株式会社JTB京都中央支店



中川 渉 | 京都中央支店 支店長

1991年入社。22年の教育旅行営業及び営業課長、営業部長を経て、2015年から姫路支店支店長、2019年から教育旅行大阪支店支店長を歴任し、2023年2月より現職。国内・海外修学旅行や研修旅行等、広く教育旅行営業に関わる。関西中心に管理職として業務を行う傍ら、地域課題を解決するため、各地域での着地型交流(活性化)事業開発にも携わる。



神田 泰志 | 京都中央支店 観光開発プロデューサー

1992年入社。法人・公務営業、営業課長、WEB販売マネージャーを経て現職。「お茶の京都博」実施・運営業務、京都府観光復興支援事業、京都府観光総合戦略に係る基礎調査業務、関西広域連合トッププロモーション事業、TEJ京都府ブース運営業務、「京の酒」海外需要開拓緊急対策事業、令和2～4年度京都府観光客動向調査の実施業務、きょうと魅力再発見旅プロジェクト事業等に従事。



田中 大誠 | 京都中央支店 営業1課 営業担当

2021年入社。法人営業、行政営業担当。宮津市の地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業(地域の収益最大化事業4エリアをつなぐ『周遊交通バス』実証実験、市内観光エリアを繋ぐ市内周遊促進実証試験業務)、地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業(【新】かめおか保津川エコーナ川下り、日本の滝百選「金引の滝」で行う滝行とサウナ)に従事。

○エリア統一ホテル管理システム（PMS）の導入に向けて

エリア統一ホテル管理システムの新規導入支援にあたって、宮津市内宿泊施設のPMS導入状況等の調査～導入までのステップを明確にした上で、各ステップにおける実施内容について整理を行った実施計画を策定します。

・PMS新規導入フロー（ステップ）の整理

・各ステップの作業内容の整理

- ◎PMS導入状況調査
- ◎各施設のPMS導入意向の把握
- ◎PMS導入説明、契約
- ◎PMS詳細内容の協議
- ◎PMS導入
- ◎PMS操作説明 など

・スケジュールの整理

・実施体制・連絡体制

・サポート体制の整理

エリア統一ホテル管理システム（PMS）導入に関する支援体制は、以下を予定しています。現地に精通しているJTB京都中央支店に包括的窓口を設け、宿泊事業者のニーズや各施設のデータ管理の実態を踏まえて、最適なPMSの導入を促進していきます。

（株）JTB京都中央支店 （再委託）

業務管理 （事務局）

統括責任者 支店長 中川 渉
事業推進管理者 観光開発プロデューサー 神田 泰志
事業推進担当者 営業一課 田中 大誠
TEL : 075-284-0146 E-mail : tsunagaru_miyazu@jtb.com

- ・業務管理（事務局の設置）、事業遂行管理、宿泊費業者に対するPMSの新規導入支援、関連観光事業者への窓口
- ・「エリア統一ホテル管理システム（PMS）及び宿泊データ分析システム導入業務」 総合調整

（株）タップ

- ・エリア統一ホテル管理システム（PMS）提供
- ・運用保守管理

宿泊・観光DX事業部 担当部長
篠崎 正和 他1名
TEL 090-7838-1345 E-Mail masakazu.shinozaki@tap-ic.co.jp

（株）JTB霞が関事業部

- ・accommod以外のPMS導入時のPMS事業者紹介

営業推進課 観光DX推進チーム 営業担当課長
風見 幸太郎 他1名
TEL 03-5539-2818 E-Mail k_kazami114@JTB.com

各PMSシステム提供会社

○導入するエリア統一ホテル管理システム（PMS）の提案

・宮津市の宿泊施設においては、すでに多くの宿泊施設においてPMSが導入されており、その一部のPMSとは、下表のとおり、宿泊データ分析システムとAPI連携・スクレイピング連携により自動連携を実現しています。

・本業務では、PMSが導入されていないと考えられる宮津市の宿泊施設の特性（小規模施設が多いと考えられる）を鑑み、操作性や拡張性の高い50室以下の宿泊施設向けのPMS（accommod）の導入を支援していきます。

その他、宿泊施設等のニーズを踏まえ、ステイシー等の現時点で宿泊データ分析システムと自動連携を実現しているPMSについても柔軟に対応していくものとします。

表 宮津市でのPMS導入状況と宿泊データ分析システムとの連携可否

宿泊データ分析システムと連携しているPMS名	宮津市での導入施設数(JTB調べ)	宿泊データ分析システムとの連携方法
らく通	8施設	API連携
陣屋コネクト	--	API連携
TLリンカーン	3施設	スクレイピング連携
ステイシー	--	スクレイピング連携
RoomBoss	--	ファイル連携
支配人くん	--	ファイル連携
Future-V	--	ファイル連携
宿研	2施設	ファイル連携
accommod ※本事業で導入提案	--	API連携（予定）

○ 宿泊データ分析システム構築導入及びデータ連携の実施について

宿泊データ分析システム構築導入及び宮津市宿泊事業者に対してデータ連携の実施にあたって、宿泊データ分析システムの設計～構築～導入～説明会の実施までのステップを明確にした上で、各ステップにおける実施内容について整理を行った実施計画を策定します。

- ・ 宿泊データ分析システム構築導入・データ連携に関する実施項目（ステップ）の整理
- ・ 各ステップの作業内容の整理
 - ◎ システムへのニーズ調査
 - ◎ システムの設計
 - ◎ システムの構築
 - ◎ 運用保守計画、
 - ◎ システム導入（試験運用・本運用）
 - ◎ 説明会の実施
 - ◎ 運用保守 など
- ・ スケジュールの整理
- ・ 実施体制・連絡体制
- ・ サポート体制の整理

宿泊データ分析システム構築導入等に関する支援体制は、以下を予定しています。宮津市等にシステムに対するニーズを踏まえつつ、宿泊データ分析システム構築導入、及びデータ連携、そして利用されるシステムへとシステムの利用促進を実施していきます。

(株) JTB京都中央支店 (再委託)

業務管理 (事務局)

統括責任者 支店長 中川 渉
事業推進管理者 観光開発プロデューサー 神田 泰志
事業推進担当者 営業一課 田中 大誠
TEL : 075-284-0146 E-mail : tsunagaru_miyazu@jtb.com

- ・ 業務管理（事務局の設置）、事業遂行管理、宿泊費業者に対するPMSの新規導入支援、関連観光事業者への窓口
- ・ 「エリア統一ホテル管理システム（PMS）及び宿泊データ分析システム導入業務」 総合調整

(株) JTB霞が関事業部

- ・ システム設計・データ構造検討支援
- ・ データ分析、地域運用支援等

営業推進課 観光DX推進チーム 営業担当課長
風見 幸太郎 他1名
TEL 03-5539-2818 E-Mail k_kazami114@jtb.com

(株) オープントーン

- ・ 宿泊データ分析システム開発、改修
- ・ 運用保守管理

観光ビッグデータ事業部 ITエンジニアリング事業部 部長
畑中 貴之 他1名
TEL 03-4530-6223 E-Mail hatanaka@opentone.co.jp

(株) 創建

- ・ マニュアル作成

東京本部 本部長 東京本部長
所 功治
TEL 03-6854-4311 E-Mail tokoro@soken.co.jp

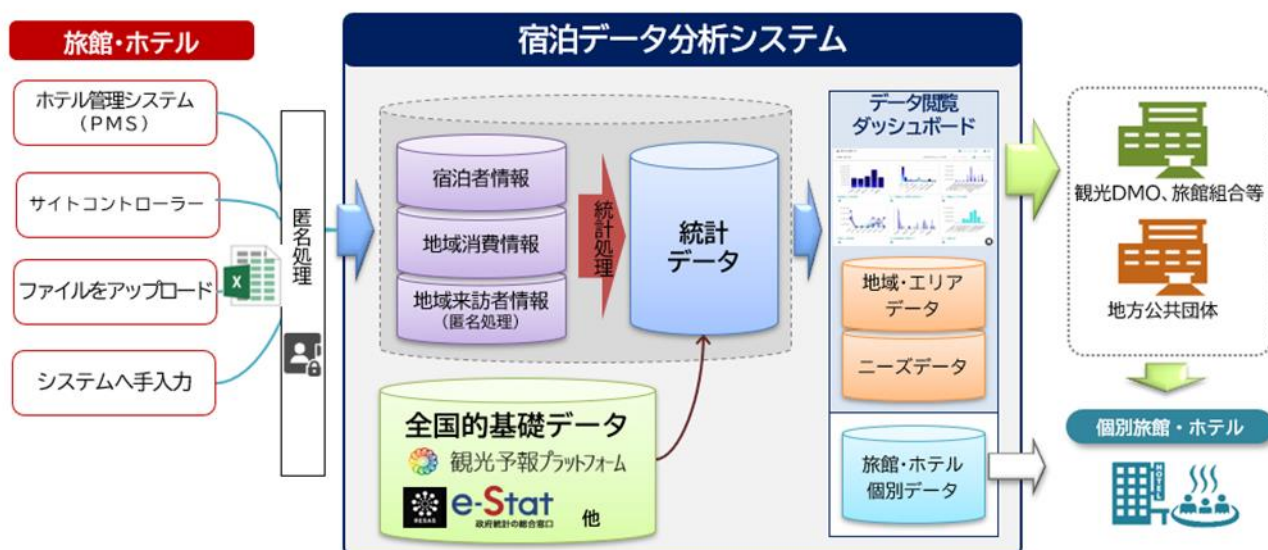
○ 宿泊データ分析システムについて

・本業務で構築するシステムでは、ホテル管理システム（PMS）やサイトコントローラーなどと連動して、旅館・ホテルの宿泊者データをリアルタイムに収集・蓄積し、そのデータを可視化するシステムです。

・宿泊データは、システム導入地域の宿泊者情報等のデータを統計的に処理し、統計データとして格納、このデータのみならず、その他のオープンデータ（全国的基礎データ）も取り込み、ダッシュボードで、双方のデータを様々な角度から分析するとともに、グラフなどを用いてビジュアル化することが可能です。

・これらのデータは、地方公共団体や観光DMOなどの地域団体、及び個別の旅館・ホテルでも利用することができ、各団体・施設のデータに基づく戦略的な取組の企画をアシストします。

図 宿泊データ分析システムの構成



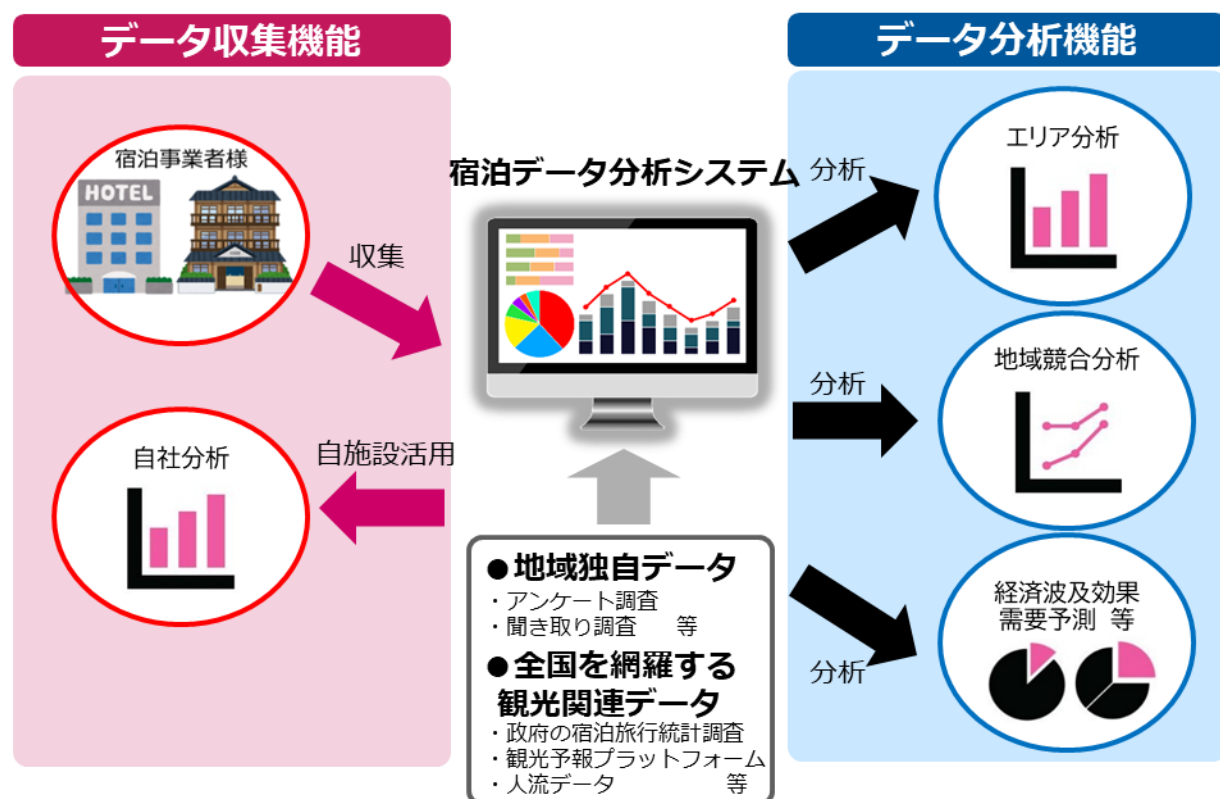
○ 宿泊データ分析システムについて

・本業務で構築するシステムでは、大きく分けて『データ収集』と『データ分析』の2つの機能を有し、それぞれの機能が連動したシステムとして構築します。

・『データ収集』機能は、データ連携における個別施設への負担を極力軽減したデータ収集のための多様なインターフェースを用意し、データ収集をスムーズにします。

・『データ分析』機能は、収集したデータを、利用者のニーズに合わせて多様に組み合わせ分析ができる環境を提供します。また、将来の需要予測（拡張機能）や効果測定を可能にし、計画や政策策定での活用を可能にします。

図 宿泊データ分析システムの基本的考え方



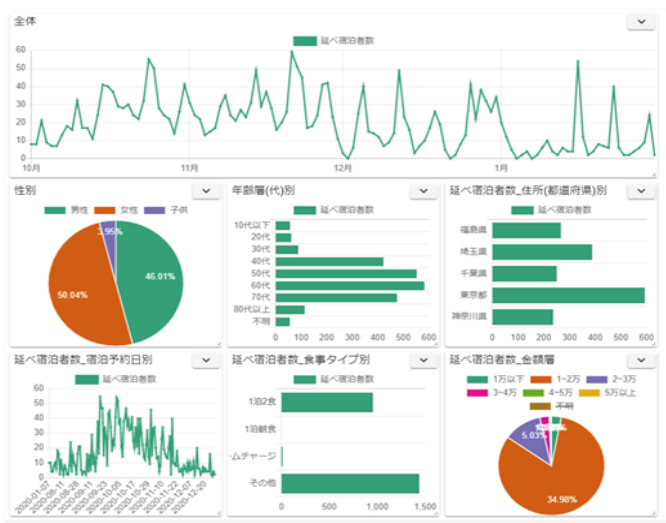
○データ分析に関して

・各種データの一覧表示

宿泊者数全体、性別、国籍別、年齢層別、宿泊単価別など、様々なデータを一覧で表示・分析するための一覧表示機能を提供します。

また、表示内容をカスタマイズし、それを保存でき、いつでもほしいデータにアクセスすることも可能にします。

▼宿泊データのダッシュボードイメージ



▼指定可能な分析軸の例

期間

- ・ 日別
- ・ 月別
- ・ 年別
- ・ 対象期間合計

性別

予約タイミング 何日前の予約か？

出発地

- ・ 国内（都道府県）
- ・ 国内（市区町村）
- ・ 海外（出発国）

宿泊単価

- ・ 5,000円単位～

年齢層

- ・ 10代ごと

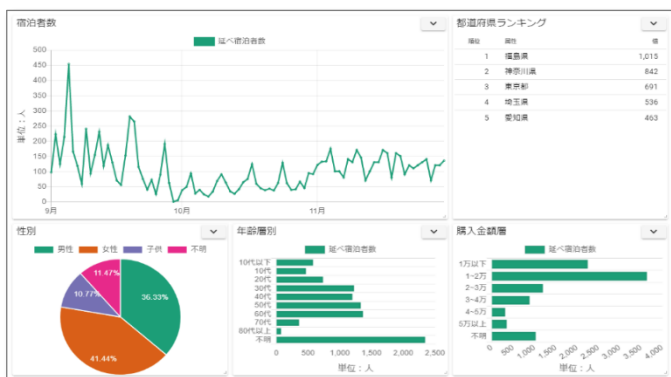
・カスタマイズ可能な様々な表現方式

収集したデータを表示する際、折れ線、円、棒グラフなどのグラフ形式をはじめ、表形式、ヒートマップ、ランキング表示など収集したデータを様々な表示形式で閲覧可能にします。表示形式は、表示後もカスタマイズが可能で、その状態を保存できます。自分好みにカスタマイズしたダッシュボードを作成できます。

様々なグラフ表示



様々な表示形式



○データ分析に関して

・個別施設と地域全体の比較

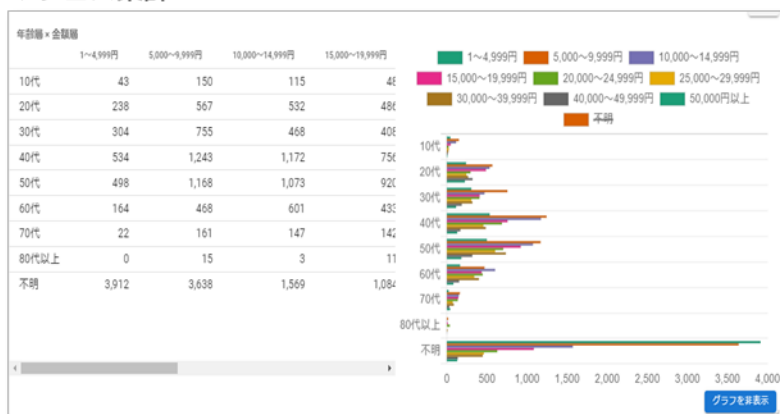
個別の宿泊施設向けに、自施設の収集データと地域全体の集計データを容易に比較する機能を提供します。今回の宮津市様用に地域（エリア別・県域）の傾向と比較できるように改修を行い、自施設の強み・弱みを把握し、施策検討に活かすことができます。



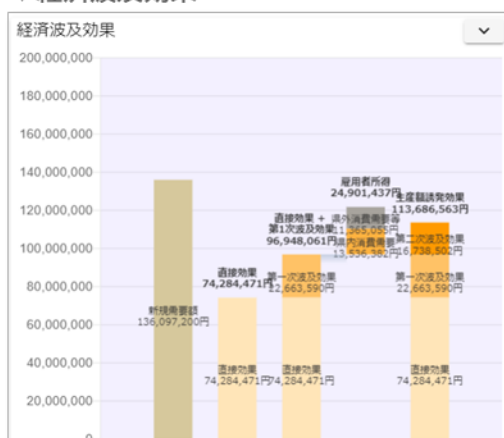
・クロス集計や経済波及効果の測定

収集したデータをクロス集計したり、宿泊者・訪問者数による経済波及効果の分析を行う機能を提供します。顧客属性の動向をより深く分析したり、地域全体の経済波及効果を測定することを可能にします。

▼クロス集計



▼経済波及効果



効果測定に関する			
新規消費額	宿泊効果	第一次波及効果	宿泊効果 + 第一次波及効果
136,097,200円	74,284,471円	22,663,590円	96,948,061円
海外消費誘発額		国内消費効果	
11,365,055円		13,536,382円	
		24,901,437円	
宿泊効果	第一次波及効果	第二次波及効果	生産額誘発効果
74,284,471円	22,663,590円	16,738,502円	113,686,563円
カテゴリー		宿泊効果	第一次波及効果
耕種農産		1,340,595円	560,406円
畜産		-	371,579円
農林サービス		-	153,367円
林業		-	42,284円
漁業		241,097円	41,315円